KYU-6 キューロク LEDライトブレスレット　取扱説明書

LMN-RGB/-BIC

OMNIVAS Photography and Creative

お届け内容

本体：1個
充電用USBケーブル（約20cm）：1個

about KYU-6

LightBlaster、SpekularでおなじみのSpiffy社から、ウェアラブルの超軽量LEDライトが登場です。15色の表現が可能なRGBタイプと、色温度可変タイプをご用意しました。
フレームには形状記憶合金を採用。縁日で売っているパッチンブレスレットのように、腕や足に巻きつけられるのが特徴です。さらに、内蔵磁石によりホワイトボードや自動車などの鉄板に設置したり、ストレートに伸ばした状態でも吊り下げ出来るようになっているので、現場環境を問わずセッティング可能です。
シーケンシャルエフェクトを搭載しており、それぞれ５つの発光パターンで連続発光させることが出来ます。

スペック：❶RGB 15色タイプ／❷色温度可変タイプ

※丸数字の記載がないものは共通スペックとなります

電源	5V（充電池内蔵）
連続駆動時間	約60分（最大光量のとき）
充電時間	約75分（電源供給元による）
最大照度目安	❶200 lux@0.3m / 20 lux@1.0m（色によって可変） ❷300 lux@0.3m / 30 lux@1.0m（色によって可変）
ビームアングル	120度
調光ステップ	12%、25%、50%、75%、100%の５段階＊1
発光色	❶赤、緑、青を含む15色
色温度	❷2700K～6000K（8段階）
演色評価指数	❷Ra95
効果	❶5種類（Breathing / Police / Fire / TV / Fireworks） ❷5種類（Breathing / Candle / Explosion / Red Carpet / Stroboscopic）
駆動環境	-20℃～40℃
保管環境	-20℃～25℃
充電端子	Micro USB
サイズ	23×2.5×1cm
重量	45ｇ

※1：製造ロットにより25%、50%、75%、100%の４段階調光の商品もあります。

各部名称・機能

基本操作方法

❶ RGB 15色タイプ　LMN-RGB

	ボタン短押し	ボタン長押し（約1秒）
	・明るさ調整（4or5段階）	・電源ON/OFF＊1
	・メインカラー設定（３色）	
	・サブカラー設定（５色） ・効果選択	・効果ON/OFF

効果：Breathing／Police／Fire／TV／Fireworks
※1：製造ロットによりボタン短押しで電源ONとなる商品もあります。

メインカラー設定：
緑系統／青系統／赤系統が切り替わります

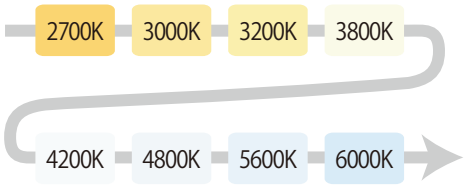
サブカラー設定：
各系統の色味が切り替わります

❷ 色温度可変タイプ

	ボタン短押し	ボタン長押し（約1秒）
	・明るさ調整（4or5段階）	・電源ON/OFF＊1
	・色温度設定（８段階）	
	・3200K/5600Kジャンプ＊2 ・効果選択	・効果ON/OFF

効果：Breathing／Candle／Explosion／Red carpet／Stroboscopic
※1：製造ロットによりボタン短押しで電源ONとなる商品もあります。
※2：製造ロットにより5600Kのみへのジャンプとなる商品もあります。

色温度設定：



ご利用上のご注意

◆充電池の過充電・過放電は充電池の寿命を縮める恐れがありますのでご注意ください◆長期の未使用は充電池の性能を著しく低下させる場合があります。保管される際は品質維持のため、3ヶ月に1回程度は充放電を行い、満充電の状態で保管してください◆製品の分解・改造は危険ですので絶対におやめください◆分解・改造などの跡がある個体はいかなる理由でも保障の対象外となります◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合がございます

2020/09/18

バッテリーの取り扱いに関しまして

本書にはバッテリーをご使用いただく上で、ご注意いただきたい点を記載しております。
大切に保管の上、安全な運用にお役立てください。

リチウムイオン電池の特性、性能などについて

▽新品のバッテリーは２～３回の充放電後に最高の性能を発揮します。
▽使用頻度・回数に応じてバッテリーは劣化し、充電可能容量が減っていきます。
▽保管中の自然放電により過放電となる場合がございます。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意下さい。
▽バッテリー残量や性能は高温や低温時に著しく低下します。望ましい利用適正温度は15度～25度です。
▽屋外環境下（高温、低温、直射日光が当たる場所など）での利用時には通常よりも短い時間での利用になる場合があります。
▽極端な高温・低温下ではバッテリーが一時的にシャットダウンすることがあります。

リチウムイオン電池の充電に関して

▽ストロボ液晶、バッテリー上の表示を参考に、残量が50%以下の場合は早めの充電をおすすめします。
▽使用後は10分程度の冷却時間を設けてから充電して下さい。
▽充電器をコンセントに繋いだ後に電池と接続して下さい。
▽充電は乾燥した可燃物の無い場所で行ってください。
▽専用充電器以外の充電器は使用しないで下さい。
▽充電器上のLEDで充電状態を確認し、充電完了後は速やかに取り外して下さい。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意下さい。

リチウムイオン電池の取り扱いと保管について

▽保管中、自然放電により過放電となる場合がございます。３ヶ月に１回は充放電のサイクルを行い、満充電にしてから保管してください。過充電・過放電はバッテリーの膨張、充電可能容量の大幅な減少など、故障や劣化の原因となりますのでご注意下さい。
▽電池を分解・改造しないで下さい。
▽電池の接点を短絡させないで下さい。
▽水や火の中に電池を廃棄しないで下さい。
▽車中等、高温や低温環境にさらさないでください。
▽電池に過度の衝撃や振動を与えないでください。
▽他の目的のために電池は使用できません。
▽涼しく乾燥した場所に保管してください 。
▽子供の手の届かないところに保管してください。
▽バッテリーは有害物質を含むため、使用済みのバッテリーは必ず各自治体の規定に基づいた廃棄方法に準じて廃棄処理を行ってください。
▽バッテリー単品の運搬時、廃棄時には金属端子部分に絶縁テープを貼り付けるなど、回路がショートしないようにして下さい。